

札幌市まちづくり戦略ビジョン



戦略編（案）



ご意見を募集します

しょうがく せい
小学生・
ちゅうがく せい む
中学生向け

ぼしゅうき かん
募集期間

へい せい ねん がつ にち か へい せい ねん がつ にち すい
平成25年7月16日(火)~平成25年8月14日(水)

あなたは10年後、何歳になっていますか？

10年後にどんなまちにしたいですか？

市役所では、これからの10年間、市民や企業、市役所が力を合わせて取り組む札幌市のまちづくりの目標や取組の内容をまとめた『札幌市まちづくり戦略ビジョン』をつくっています。

札幌市の未来を担うみなさんのご意見を参考に、より良い計画にしたいと考えていますので、このパンフレットを読んで、気づいたこと、考えたことを教えてください。

大人の皆さまへ

このパンフレットは、「札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉」の策定にあたって、子どもたちの意見を聞くために作りました。ぜひ、お子様と一緒に読みください。

また、市役所、各区役所、まちづくりセンターなどで大人用の資料も配布するとともに、ホームページでも掲載していますので、あわせてご覧ください。

札幌市 戦略ビジョン

検索



うえだ ふみ おさつほろし ちやう
上田文雄札幌市長

さつ ほろ し し ちやう せい さく しつ
札幌市市長政策室

市政等資料番号
01-A02-13-792

札幌市まちづくり戦略ビジョンって何？

札幌市のまちづくり全体に関する 一番大切な計画です

考え方・特色



- 戦略ビジョンは、まちづくりの幅広い分野にわたる、もっとも基本的な計画です。
- 戦略ビジョンには、将来目指す札幌のまちの姿を描いた<ビジョン編>と、ビジョン編の考え方を実行するために、主に市役所が力を入れて取り組むことを書いた<戦略編>の二つで構成されます。現在作っているのは<戦略編>です。

戦略ビジョン まちづくりのもっとも基本的な計画

ビジョン編 私たちが目指す札幌の姿を描いたもの

戦略編 主に市役所が力を入れて取り組むことを示したもの



- 集中して取り組む3つのテーマ
- これから目指していく札幌のまちの造り
- 市役所がまちづくりを進める上でのポイント

期間



- 平成25年度（2013年度）から平成34年度（2022年度）までの10年間、この計画に基づいてまちづくりを進めます。

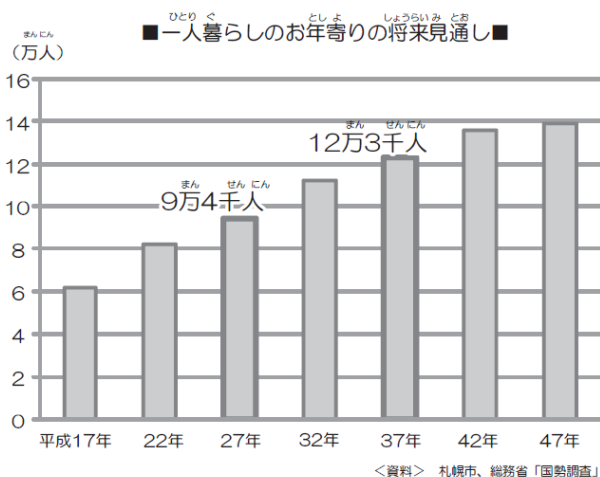
札幌市の現状と課題

社会の変化が、私たちの暮らしに さまざまな影響を与えています

超高齢化

誰もが安心して暮らせるまちづくりを
考えることが大事です

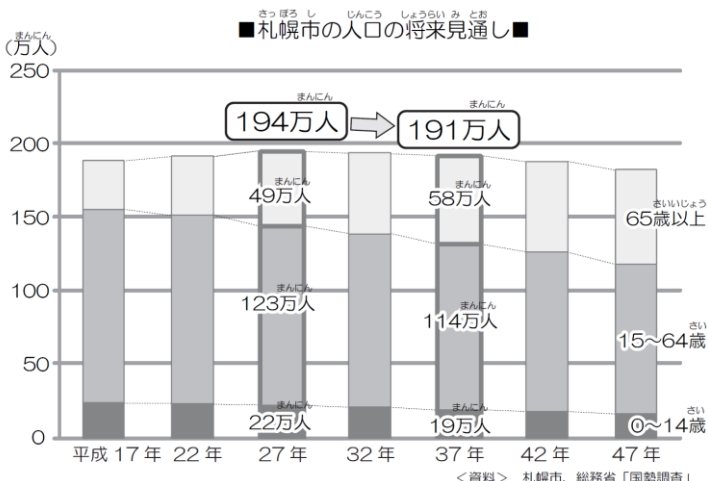
- お年寄りが大幅に増え、世話を受たり、見守ってもらったりすることが必要な人が増えています。
- 特に、一人暮らしのお年寄りが増え、12年後の平成37年には、8つの家庭のうち1つは一人暮らしのお年寄りの家庭となる見込みです。



人口減少

人口が減ることも考えながら
まちづくりを進める必要があります

- 今まで増え続けてきた人口が平成27年頃から減り始めると予測されています。
- 札幌の経済を支える働く世代（15～64歳）は平成17年から減り始め、それによって札幌の経済の力が弱まる心配があります。

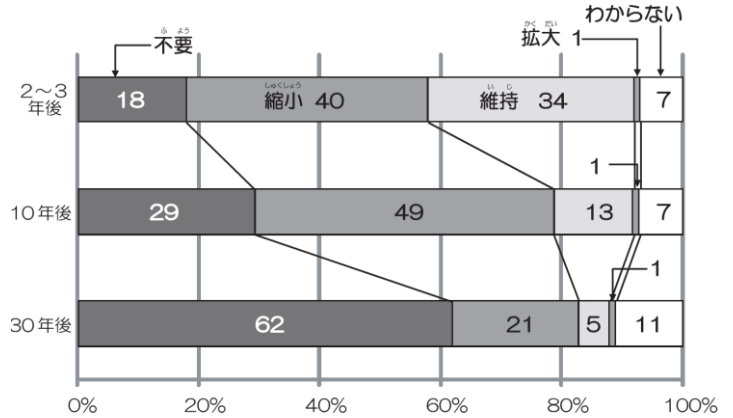


かんきょう
環境
エネルギー

ちきゅう
地球にやさしいまちづくりと
せいかつ みなお ひつよう
生活の見直しが必要です

- 福島第一原子力発電所の事故をきっかけとして、原子力発電に頼らず、太陽光などの再生可能エネルギーを増やすことが望まれています。
- 家庭で使うエネルギーは、冬の暖房使用によってほかの都市よりも多くなっています。

■ 原子力発電の今後の在り方 ■



<資料> 札幌市「平成23年度エネルギーに関する市民意識調査」

しゅうちゅう
集中して取り組む3つのテーマ

しゃかい へんか あわ
社会の変化に合わせて、3つの
しゅうちゅう
テーマに集中して取り組みます

しゃかい へんか
社会の変化

ちょうこうれいか
超高齢化

じんこうげんしょう
人口減少

かんきょう
環境・エネルギー

3つのテーマ

くらし・コミュニティ
暮らし・コミュニティ

さんぎょう かつりょく
産業・活力

ていたん そしゃかい
低炭素社会・エネルギー転換

たいおう
対応

たいおう
対応

たいおう
対応

テーマ1：暮らし・コミュニティ

～地域で支え合うまち～

市民の孤立を防ぎます

- 一人暮らしのお年寄りや障がいのある方などを、地域の住民や企業、団体などが協力して支える取り組みを応援します。



地震などの災害に備えます

- 冬に起きる地震などに備え、避難する学校に、毛布や寝袋、ストーブなど必要な物を準備します。
- 子どものころから防災を学び、自分たちで地域の防災ができる人を育てます。

～みんなが共に暮らすまち～

交流し、ふれあえるまちをつくりま

- 児童会館や学校などを使って、子どもや大人、お年寄りなどが交流し、ふれあえる場をつくりま



子どもや若者が育つ環境をつくりま

- 児童会館を使い、地域の人と子どもが交流しながら学べる機会を増やします。
- 小学校と児童会館を同じ場所に建てて、放課後も遊べる場所を使いやすくします。

歩いて暮らせるまちをつくりま

- 地下鉄やJRの駅の周りにお店や病院、区役所などを集め、便利にします。

～地域の資源を活用するまち～

まちづくりに参加する人を増やします

- 子どもやお年寄り、ボランティア団体などがまちづくりに参加できる機会を増やします。

雪と共存する暮らしを目指します

- スキーなど、冬を楽しめる身近なウィンタースポーツがもっと広まるよう応援します。
- 地域の企業や大学などと協力して、高齢者や障がいのある方の家を除雪するボランティア活動を応援します。
- 通学路などの除雪を充実させ、子どもの安全を確保します。



テーマ2：産業・活力

～新しい価値を生み出すまち～

食の魅力を生かします

- 健康に役立つ食品づくりに取り組む会社を応援します。
- アジアなどの海外へ、食品をたくさん売れるよう応援します。



観光の魅力を高めます

- 自然や食、雪まつりなどの札幌らしい魅力を高めて、多くの人に来てもらいます。

環境産業を育てます

- 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの技術開発に取り組む会社を応援します。

健康・福祉産業を育てます

- お年寄りの介護や看護に役立つ商品をつくる会社を応援します。

～道外や海外とつながるまち～

国際化を進めます

- 札幌で国際的な会議やイベントを行ってもらうよう取り組みます。

札幌に人や会社などを呼び込みます

- 札幌に道内外から人や会社が集まってくるよう取り組みます。

札幌ならではの魅力を伝えます

- 笑顔キーワードとして、札幌ならではの暮らしの魅力を世界に伝えます。
- 冬の魅力を直接感してもらうため、雪まつりや冬季スポーツ大会などを開催します。



～人が育ち、活躍できるまち～

創造性豊かな人を育てます

- 子どもが札幌の自然や歴史を学び、文化芸術に親しむ機会を増やします。
- 国内外から芸術家を呼び、市民が芸術とふれあう機会をつくれます。

誰もが活躍できるまちをつくれます

- 保育所の整備など、子育てをしながら働く女性を応援します。
- 豊富な知識や経験を持つ高齢者が、元気に働くことを応援します。



テーマ3：ていたんそしゃかい低炭素社会・てんかんエネルギー転換

～まとまりがあり、みどり豊かな環境にやさしいまち～

こうきょうこうつう公共交通をちゅうしん中心にまとまったまちにします

- 駅の周りにお店や病院などを集め、自動車に頼らないまちを目指します。
- 路面電車の路線をつなげて使いやすくします。

しぜん自然やゆたみどりが豊かなまちにします

- みんなの意見を聞きながら公園をつくり直します。
- まちの中にみどりの空間を増やします。



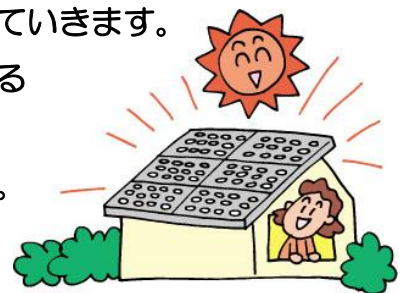
～エネルギーを上手に使うまち～

こうりつてき効率的にかつようエネルギーを活用します

- どうすれば原子力発電に頼らない社会をつくれるかを考えていきます。
- 札幌市やその周りで、太陽光、地熱、風力などが利用されるよう応援します。
- 寒さに強い住宅を増やして、エネルギー消費を減らします。

いっしょみんなでつかエネルギーを一緒に使います

- 札幌の中心部などで、ビル同士で協力して、熱や電気のエネルギーを一緒に使っていきます。



かんきょう環境にくやさしい暮らしをひろ広めます

- 札幌市の建物で、太陽光発電やLED照明などを積極的に利用します。
- 学校や円山動物園などで、環境について学ぶ機会をつくります。
- みんなが節電に取り組むように、節電キャンペーンなどを進めます。

ゆうこうごみをかつよう有効に活用します

- 生ごみを肥料にしたり、ごみをリサイクルするなど、ごみを活用しながら減らす活動を進めます。



これから目指していく札幌のまちの造り

持続可能な札幌型の集約連携都市

<共創都市さっぽろ※>

※「共創都市さっぽろ」とは、「みんなが力を合わせて創るまち、さっぽろ」という意味です。

【このようなまちを目指します】

- いつまでも暮らせるまち
- 札幌らしいまち
- 便利な所にまとまったまち
- 市内の各地や、周りのまちなどつながるまち

主な場所や取組

札幌の中心部周辺や、地下鉄の路線の周り

- たくさんの方が住み、お店や病院などが建っている便利なまちにします。

札幌の中心部から離れたところ（郊外）

- 身近に小さなお店やみんなが集まる場所などがあり、安心して暮らせるまちにします。
- 路線バスを使いやすくするなど、お年寄りも移動に困らないまちにします。

札幌の中心部（都心）

- 人が集まってにぎわえる場所や、ゆったりとくつろげる場所を整えます。
- 地下の歩行空間に、周りの建物から出入りできるようつなげてもらい、歩きやすくします。
- 自転車の乗り方に関するルールやマナーを広めて、安全なまちにします。

地下鉄やJRの駅などの周り（地域交流拠点）

- 駅の周りを、お店や病院、区役所などが建っている便利な場所にします。
- 地下鉄やJRの駅と周りの建物がつながり、冬でも安心して歩けるまちにします。

産業や観光、文化芸術、スポーツなどの拠点（高次機能交流拠点）

- 円山動物園や札幌ドームなど、札幌の産業や観光などの拠点をより良くしていきます。

長持ちする建物や道路など

- 建物や道路などを計画的に直して長持ちさせたり、地震で壊れないように強くします。

つか こうもようこうつう 使いやすい公共交通

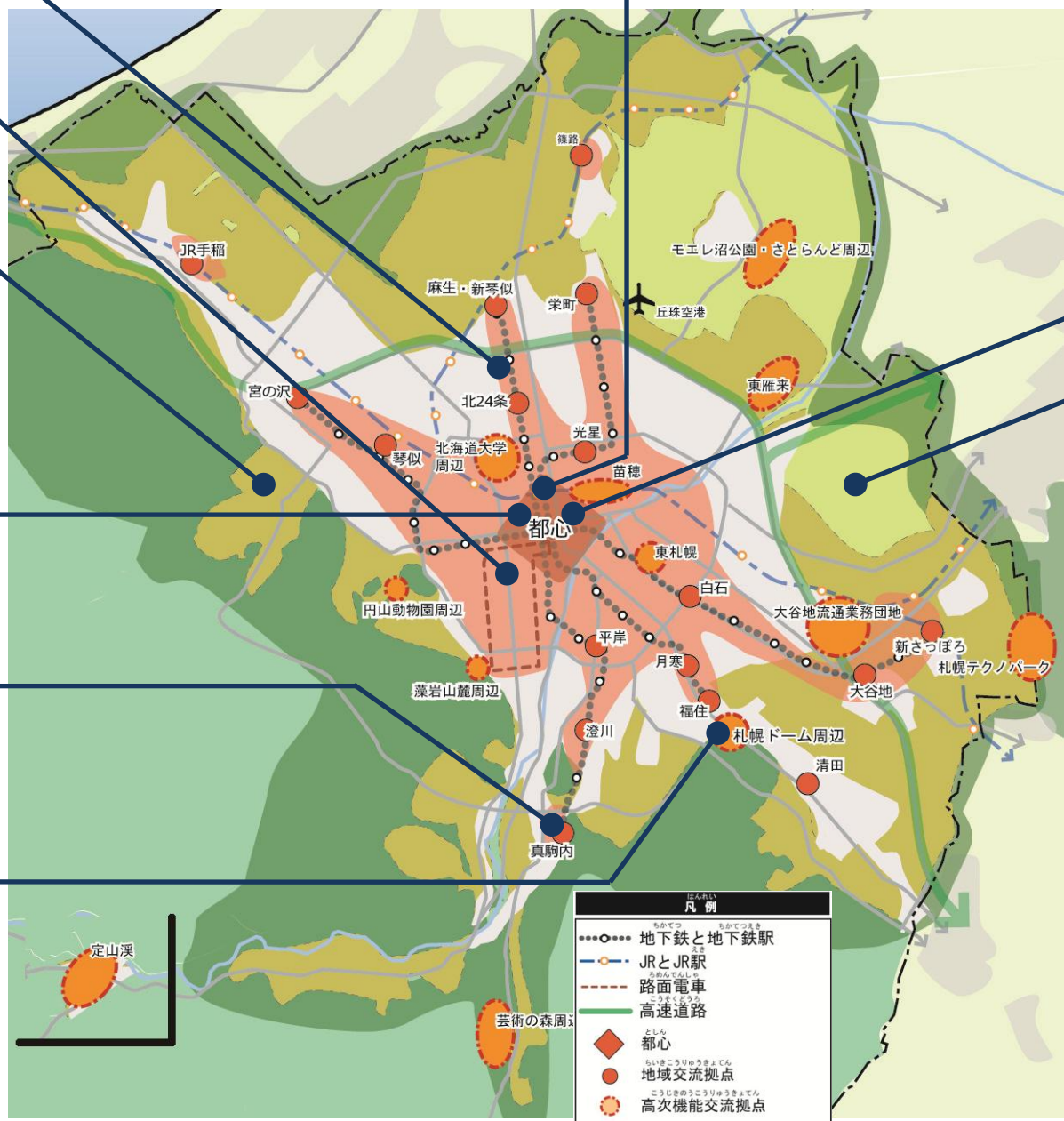
- 地下鉄・JRの駅やその周りを整えて、使いやすくします。
- 新幹線が札幌までつながることに備えて、札幌駅の周りなどをどうするか考えます。
- ほかのまちや新千歳空港などへも行きやすくなるように、道路を整備します。

ゆた 豊かなみどり

- 公園や緑地、川などを整え、豊かなみどりを守ります。
- 市民や企業と一緒に、みどりを増やす活動を進めます。
- まちの中にみどりの空間を増やします。

エネルギーのつながり

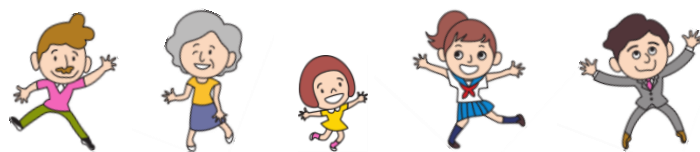
- ビル同士で協力して、熱や電気のエネルギーを一緒に使っていきます。
- 使っていない土地を太陽光発電などに利用してもらうよう応援します。



市役所がまちづくりを進める上でのポイント

3つのテーマに集中して取り組む
ためには、新しい視点を持って、市役所を
運営していく必要があります。

市役所運営の視点



市民が主役のまちづくり

- 市民に、まちづくりの情報を分かりやすく伝え、みんなで考えることで、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という、市民が主役のまちづくりを進めます。

市役所が行う行政サービスのありかたの検討

- 今後人口減少や高齢化が進むと、これまで市役所が行ってきた行政サービスや建物の整備などを、そのままの内容で続けることが難しくなるため、市民の意見も聞きながら、今後どのぐらいの行政サービスを、どのように工夫して行っていくかを考えます。

市民や企業などとの協力

- 札幌のさまざまな課題を解決するため、市民や企業との協力を今まで以上に深めていきます。

北海道や道内市町村との協力

- 札幌・北海道が持つ魅力を生かしながら、北海道や道内市町村と、観光や経済など色々な分野で協力して取り組んでいきます。

さつ ぼろ し せんりやく せんりやくへん あん い けん よう し
札幌市まちづくり戦略ビジョン<戦略編>(案)意見用紙



あなたは、このパンフレット
を読んで、どんなことを思い
ましたか。
あなたは、札幌がどんなまち
になってほしいですか？
気づいたことや、考えたこと
を書いて送ってください。

(お名前)

(学年)

さつ ぼろ し せんりやく せんりやくへん あん い けん
札幌市まちづくり戦略ビジョン<戦略編>(案)へのご意見

ほごしや きにゅうらん
保護者の記入欄 (お子様のご意見に対する感想や補足説明、ご家族で話し合った際の様子などご記入ください。)

※なお、市役所、各区役所、まちづくりセンターなどで、大人用資料も配布していますので、あわせてご覧いただき、保護者の皆様もぜひご意見をお送りいただけると幸いです。

さつ ぼろ し し ちようせい さく しつ せい さく き かく ぶ き かく か
札幌市市長政策室政策企画部企画課

FAX 011-218-5109

さつ ぼろ し せんりやく せんりやくへん あん い けん ぼしゅう
『札幌市まちづくり戦略ビジョン<戦略編>(案)の意見募集』

060-8788

書き方について

①記入用紙に意見を書いて、用紙を切り取り、のり付け後、提出してください。

②学校で記入用紙を取りまとめている場合には、学校に提出してください。

札幌市中央区北1条西2丁目

札幌市長政策室政策企画部企画課 行

料金受取人私郵便
札幌中央局
承 726

差出有効期間
平成25年8月
31日まで
●切手不要

ヤマオリ②

- ※寄せられた意見に対して、個別の回答はいたしません
が、意見の要点をまとめ、それに対する市役所の考え
方とあわせて、ホームページなどで発表します。
- ※記入用紙に氏名や学年を書かなくても構いません。
意見の要点を発表するとき、氏名は公表しません
が、学年は紹介する場合があります。
- ※記入用紙を直接、市長政策室企画課にお持ちいただく
場合、受付時間は平日の午前8時45分から午後5時
15分までです。
- ※このパンフレット（小学生・中学生向け）のほかに、
一般用（高校生・大人向け）の資料を市役所や区役所、
まちづくりセンターなどで配布しています。

ヤマオリ①

札幌市まちづくり戦略ビジョン ＜戦略編＞（案）

みなさんのご意見を募集します

提出期限と提出方法

平成25年（2013年）8月14日（水）必着で、
持参または郵送、FAX、Eメールなどにより
送ってください。

※郵送の場合

- ①このページを切り取り、ご意見記入。
- ②折り線のとおり折る。
- ③のり付けして、ポストに投函。（切手はいりません）

■お問い合わせ先■

- 札幌市長政策室 政策企画部 企画課
- 電話：011-211-2192
- FAX：011-218-5109
- Eメール：sapporovision@city.sapporo.jp
- ホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/vision/>